

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業の概要

事業名	一般国道9号（山陰自動車道） 福光・浅利道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局								
起終点	自：島根県大田市温泉津町福光 至：島根県江津市松川町上河戸	延長	6.5km										
<p>事業概要</p> <p>山陰自動車道は、鳥取県鳥取市から山口県美祢市に至る延長約380kmの高規格幹線道路である。 福光・浅利道路は、山陰自動車道の一部を構成する道路で、大田市温泉津町から江津市松川町に至る延長6.5kmの自動車専用道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>福光・浅利道路は、江津市・大田市間における緊急輸送道路の確保、3次医療施設への速達性向上、企業進出などの民間投資の促進等に寄与するものである。</p> <p>全体事業費 約290億円 計画交通量 約15,000台/日</p> <p>事業概要図</p> <p>位置図</p> <table border="1"> <tr> <th>凡</th> <th>例</th> </tr> <tr> <td>供用中区間</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>調査中区間</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>対象区間</td> <td>▨</td> </tr> </table>						凡	例	供用中区間	■	調査中区間	□	対象区間	▨
凡	例												
供用中区間	■												
調査中区間	□												
対象区間	▨												

<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>【島根県知事】</p> <p>一般国道9号（山陰自動車道）「福光・浅利道路」事業を予算化することについて同意いたします。</p> <p>島根県では、地方創生に向け地域産業の振興や企業立地の促進による雇用の確保につなげることに全力で取り組んでいます。特に人口減少の著しい県西部においては、工業団地や港湾の整備に取り組んできており、これは山陰道の整備が前提となっています。</p> <p>当該道路に隣接する江津地域拠点工業団地では、山陰道のルートが示されたことを契機に急速に企業が進出して概ね売立となり、団地拡大の検討が始まっています。</p> <p>また日本海側拠点港「浜田港」については、対岸諸国に近接する特性を活かした国際貿易の拠点としての機能強化を図るため、来年度策定予定の長期構想に基づき港湾整備の拡充に取り組んでいくこととしています。</p> <p>あわせて当該工業団地のアクセス道路で、かつ山陰道と繋がる県道浅利渡津線を平成30年、浜田港と山陰道をつなぐ臨港道路は平成29年度の完成を目標に整備を進めています。</p> <p>つきましては島根県のこれらの取組みの成果がより早期に発揮できますよう「福光・浅利道路」の早期整備をお願いいたします。</p> <p>なお、全線供用までの当面現道を活用する期間は、道路利用者に対して安全で一貫したサービスを提供する観点から、国による統一的管理方法について検討していただきますようよろしくお願いいたします。</p>	
---	--

<p>学識経験者等の第三者委員会の意見</p> <p>・新規事業化については妥当である。</p>

<p>事業採択の前提条件</p> <p>費用対便益：便益が費用を上回っている 手続きの完了：計画段階評価手続き完了（H25.7.4） 都市計画決定・環境影響評価手続き完了（H27.9.15）</p>
--

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.2 (1.5)	総費用 4,127億円 （事業費：3,749億円 維持管理費：378億円）	総便益 4,962億円 （走行時間短縮便益：3,914億円 走行費用減少便益：734億円 交通事故減少便益：314億円）	基準年 平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1 (交通量 -10%)	B/C=1.3 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.2 (事業費 +10%)	B/C=1.2 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=1.2 (事業期間 +20%)	B/C=1.2 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない	
		事故対策	○	交通分散により、半数を占める正面衝突事故等の事故件数の減少が見込まれる。 【交通事故致死率（H22～H25年平均値）】 国道9号福光浅利間：23.1%（全国平均の33倍、中国地方平均の26倍、島根県平均の12倍） 全国平均：0.7%、中国地方平均：0.9%、島根県平均：1.9% （※全国平均、中国地方、島根県はH23～H26平均値）	
		歩行空間	—	注目すべき影響はない	
	社会全体への影響	住民生活	◎	3次救急医療機関（島根県立中央病院等）へのアクセス時間の短縮、3次救急医療機関60分圏域の拡大により地域の安全・安心を確保 江津市役所～島根県立中央病院（出雲市）の所要時間：約85分→約70分（15分短縮） 大田市・川本町・美郷町における3次救急医療機関60分圏域人口： 約42.7千人→約43.8千人（約1.1千人増加）	
		地域経済	○	高速ネットワークへのアクセス向上が図られ、企業進出などの民間投資の促進が見込まれる。	
		災害	◎	国道9号（現道）が災害等による通行止め時においても、緊急輸送道路が確保され道路の安全性や信頼性が向上 国道9号通行止め時の移動時間：約63分（県道経由）→約22分（福光・浅利道路経由）	
環境		—	注目すべき影響はない		
	地域社会	○	江津市から松江市（県庁所在地）への連絡時間が短縮し、地域間のアクセス向上が見込まれる。		
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定、環境影響評価手続き完了（H27.9.15） 島根県知事より、福光～浅利間の平成28年度新規事業化を要望 			

採択の理由

<p>費用便益費が1.2(1.5)と便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。</p> <p>また、江津市～大田市間における緊急輸送道路の確保、3次救急医療機関への速達性向上、及び企業進出などの民間投資の促進等、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。</p> <p>以上より、本事業の新規事業化については妥当である。</p>
--

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※B/Cの上段の値は宍道JCT～浜田JCTを対象とした場合、下段（）書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
現道の課題箇所を回避し、災害時等にも機能する信頼性の高いネットワークを形成し、高速ネットワークへのアクセス向上により民間投資が促進され、地域活性化に寄与するものである		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・国道9号福光～江津間には、防災点検要対策箇所が存在し、過去にも豪雨災害により、洪水のみならず多くの箇所で土砂災害が発生しており、緊急輸送道路としての信頼性に課題。 	※中国圏広域地方計画（H21.8） ・広域的な防災、危機管理体制の強化を図るため、都市における業務中枢機能の相互ネットワーク化や、交通、情報通信、ライフライン等の社会基盤の広域的な多重化・多元化を進める。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・医師減少により医療体制が衰退し、県東部（出雲市）の第3次救急医療機関への広域搬送が増加傾向である。 ・浜田・江津・大田圏域には、NICU（新生児集中治療管理室）が無い場合、高度な治療が必要な場合は、県東部への搬送が必要。 	※中国圏広域地方計画（H21.8） ・人口規模が小さくても現状では、生活サービス機能を提供することが期待される小都市においては、今後の人口減少により医療機能等の維持が困難になることも予想されることから、近隣都市圏との機能連携を進める。 ・中国圏のあらゆる地域で高度な医療サービスや教育の享受を可能にするため、都市圏間をネットワークする高規格幹線道路網の整備や、搬送時間の短縮に資するドクターヘリ等の医療体制の構築を図る。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・高速ネットワーク整備が進む島根県東部では企業進出が進んでいるが、整備が遅れている島根県西部では、企業進出が遅れている。 	※中国圏広域地方計画（H21.8） ・生活、産業等における都市と中山間地域等の多様な交流を拡大するとともに、圏域内外の地域間交流を支える基幹的な交通機能の整備や、地域特性に応じた高度情報通信ネットワークの強化を促進する。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がCランク→Bランク（Cランク→Bランク）に改善するとともに、当該地区を通過する拠点間の累積脆弱度が解消し、防災機能の強化が図られる。 ・また、災害時においても機能する道路ネットワークを形成し、医療活動や経済活動を支援する有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	島根県庁	浜田市	17 (9)	0.54 (C) 〔0.34〕 (C)	0.04 (B) 〔0.05〕 (B)	▲44.81 (▲6.15)	0.16 (0.02)	0.58 (0.31)	◎

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> ・計画段階評価手続き完了（H25.7.4）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は宍道JCT～浜田JCTを対象とした場合、
下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果